

読書バリアフリー研究会 福島 アンケート回答

日 時 2025 年 11 月 8 日（土） 午前 10 時 00 分～午後 4 時 30 分

会 場 福島県立図書館

参加者 83 名（会場 14 名、オンライン 69 名）／アンケート回収 48 名

1. 今回の「読書バリアフリーフォーラム」をどちらでお知りになりましたか。

メーリングリスト	14	
友人・知人の紹介	9	
DM	7	
図書館内での案内・ちらし	7	
ウェブサイト	7	
新聞・雑誌	0	
SNS	0	
その他	4	職場 2、JLA メルマガ、司書研修会
合計	48	

2. よろしければ、ご職業等をお知らせください。

図書館員	16	
学校司書	11	
教諭	6	
ボランティア	2	
保護者	0	
出版関係	0	
その他	9	講師 3、視覚障害者情報提供施設職員、元教諭、福島県読書サポートティーチャー など
未記入	4	
合計	48	

3. お住まいの地域をお知らせください。

福島県	18	中通り 14、浜通り 4
東北地方（福島県を除く）	10	
関東地方	9	
近畿地方	5	
九州地方	2	
北海道	1	
中部地方	1	
中国地方	1	
四国地方	1	
合計	48	

4. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
41	5	2	0	0

その理由をお聞かせ下さい。(いただいたご意見の一部を掲載しております。)

満足の理由

- ・最初は、家でズームで講演会を受講するつもりでしたが、実際に県立図書館にうかがい、先生方の生の声とお話をうかがうことができて良い学びになりました。ありがとうございました。
- ・オンラインだったので、現地に行けなくても参加でき、良かった。
- ・自分は聴覚障害のある図書館員です。要約があったので、内容がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・福島の渡邊先生の指導事例を聞くことができたことや視覚支援学校の図書室の運営実態などについて知ることができた。
- ・いろいろな立場の方のお話が全般的に伺えたので勉強になった。視覚支援学校の国語の先生のお話が特に参考になった。単一障害の生徒の学習のしかたがたくさん聞けてよかった。学びを校内でシェアしたい。
- ・貴重なお話を聞くことができ、大変参考になりました。最近、触察本を図書室に入れたのですが、習得には習熟していく必要がある。触るときに解説が必要なことなどコミュニケーションをとりながらということが大事な事という事も聞けて良かったです。
- ・特別支援学校の実践例が参考になりました。こういった力が身につかないと、これができないという段階や、国語における授業での工夫が参考になりました。
現在、教科書にある題材でペープサート劇を計画しています。脚本の音読で、登場するオオカミへの思いが強く、自分のイメージで“勝手読み”をする生徒がいます。お話の流れはよく理解できています。教科書通りに読む(台詞を言う)ように指導すべきか悩んでいましたが、平林先生のお話を聞き、生徒なりに登場人物像をイメージし、表現していると受け止めようと思いました。やる気をそがないように、行き過ぎない範囲で許容していこうと思います。
- ・読書のバリアについて、改めて考えることができました。特に、渡邊先生のお話は点字指導の様子がわかり、大変参考になりました。私の勤務先では点字は年々貸し出し数が減少しています。点字を読める利用者を探す方が大変です。そんな中でも点字を一生懸命に学んでいる生徒さんがいらっしゃるって伺い、点字図書の製作にももっと力を入れていきたいと思っています。
- ・読書バリアフリーの知識を得ることができる貴重な講演だった。『学校の読書バリアフリー はじめの一步』を読んだことがあるが、話を伺うほうがより理解が深まった。教員が対面する教科書バリアフリー問題は初めて知る内容であり、ぜひ改善してほしいと思う。
- ・盲学校の生徒さんがどのように点字を習得していくのか、知ることができてよかったです。点字の読み取りを優先させるためにデイジーの使用を控えるというのも、初めて知り、安易におすすめてはいけないのだなと気を付けたいと思いました。
- ・デイジー教科書以外の様々な読書や学びのためのツールを知ることができたからです。
- ・読みの苦手さは、学校ではからかい、社会では情報を得られない不利益など、その人らしく生活する上で間違いなく壁になってしまうと思います。今回先生方から学んだことを少しでも子どもたちに還元できるように取り組んでいきたいと思っています。
- ・教育現場のお話を聞く機会がないので、とても興味深かったです。

- ・児童への支援について学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・「わいわい文庫蔵書検索」など知らなかった情報を得ることができた。Ver.Blue と White の説明もあってよかった。地元の事例を知ることができた。渡邊寛子先生の話に胸をうたれました。
- ・いろんな立場の講師の方がお話をしてくださったので、広くバリアフリーのことを考えることができた。
- ・学校での読書支援、読書サポートの様子を知ることができてよかった。また、様々な読書サポートのサービスや機器類を紹介していただき勉強になった。
- ・現在本県では、読書バリアフリー促進のため、点字図書館と県立図書館さんとの連携を始めたところです。今後、県としてどういう方向性で進めて行くかのヒントをいただきました。また、もう少し詳しくお聞きしたいと思いましたので、テーマを絞っても良いかと思いました。
- ・様々な立場から、事例や現状、ツールなど講義していただき、とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・視覚障害サポートの実例や当事者の話がたっぷり聞けて興味深いものでした。さすがの講師陣だと思いました。
- ・視覚障害のある子どもたちや、読みに障害のある子どもたちがどのように読めるようになっていったのか、とてもよくわかった。教師としての大変さ、法律のはざまの課題など、考えさせられることが多かった。とても良かった。ありがとうございます。
- ・読書バリアフリー法ができてから、学校図書館においてできることは何か、ずっと考えていたところに、今回の研究会の案内を拝見し、ぜひ勉強したいと思いました。初めて知ることも多く、参加して本当によかったです。知的障害・情緒障害の児童・生徒たちと接することも多く、これから学校司書としてどうかかわっていくかヒントをたくさんいただきました。
- ・どの講座も大変わかりやすく参考になる事例・講義でした。職員全員で受講したいぐらいでした。ありがとうございました。
- ・福島県内の読書バリアフリーに関する様々な取り組みを知ることができて、参考になった。
- ・普段の生活で学びきれないことを、各テーマに沿って分かりやすくお話しいただき、ありがとうございました。
- ・多方面からの取組を伺うことができ、大変勉強になった。
- ・読書バリアフリーという言葉は知っていましたが、どのようなことかと言われたら言葉にすることができませんでした。しかし今回、各先生のお話を聞き、具体的にどのようなバリアがあり、それに対してどのような支援があるのか、出版や教育現場、図書館などが様々な異なるバリアに対して、どのように支援を行っているか、また工夫や努力をされている状況を知ることができました。やっと読書バリアフリーとはどういうことか納得できたように思います。
- ・読書バリアフリーへの理解が深まりました。
- ・公共施設に関わる職員として、改めて今後のサービスに活かしていきたいと感じました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・読書バリアフリー資料の充実や広報について日々課題に思っているところでしたので、参考になるお話がたくさん聞けて良かったです。
- ・普段は紙の資料を扱うことが多いが、バリアフリーの資料・取り組みについて、さまざまな視点からお話を聞くことができ、それぞれが抱える課題や実績を知ることができたため。
- ・様々な立場の方から読書バリアフリーについてのご意見を伺い勉強になりました。ハンディキャップがある子どもの読書事情について、特に支援学校での実際の様子などを聞かせていただき、大変参考になりました。点字図書館のお話でも初めて知ったことが多

くありました。一人一人の読みたい、学びたいという気持ちに応えられるように、できるところから取り組んでいきたいと思います。

- ・様々な立場の方から読書バリアフリーについて講義いただいたのが良かったです。特に支援学校での取り組みや先生方がどのように対応されているのか伺えたのが参考になりました。当館のサービスについて少しずつでも進められていけるように考えていきたいと思いました。
- ・福島の前田先生の指導事例を知ることができた。
- ・自校以外の視覚支援学校の図書室のありかたについて少しうかがうことができた。
- ・わいわい文庫の利用例や申込方法について知ることができた。
- ・わいわい文庫について色々知ることができた。

やや満足の理由

- ・とても勉強になりました。欲を言うなら学習障害で本が読めない子どもたちへの対応などをもう少し学べたらよいと思いました。
- ・現在、特別支援学級（情緒学級）の担任をしていますが、知的障害の疑いのある児童が中にいて、読み・書きに苦しんでいる状況で、読書もできません。そんな児童が苦を感じず、楽しく前向きに学習に取り組めるような情報を知れたからです。
- ・成松さんの講義は勉強になりました。
- ・当方公共図書館職員のため、もちろん知識としてあった方がいいかと思うが、学校の分野の専門的な内容があった。

やや不満の理由

- ・ウェビナーメールリンクから開こうと思いましたが、繋がるためにしばらくお待ちくださいのメッセージが長く、繋がりにくかったようです。こちらの問題かもしれません。そのため、オンライン視聴ができませんでした。PDF 資料はダウンロードできていますので、拝見しました。
- どの講座も素晴らしい内容です。参考にさせていただきたいと思います。共有いただきありがとうございました。
- ・点字図書館の最近の動きを知りたかった。

5. 今後ご希望される「読書バリアフリー」に関する講座やテーマ、その他、ご感想などがありましたらお書きください。（いただいたご意見の一部を掲載しております。）

- ・ありがとうございました。研修に参加させていただいてよかったと思います。できていること、まだできていないことも自分の中で整理できました。バリアフリーは終わりが無いと思いますので今後も学んでいきたいです。
- ・これからも、機会を見つけていろいろな講座に参加しようと思う。
- ・今回の講座は、非常にいい勉強になりました。現在の勤務校で図書主任もしておりますので、今回の講座で得た情報をもとに、勤務校に、または地域の実態に合った図書室づくりにも力を入れたいと思いました。
- ・勤務している小学校で「わいわい文庫」を導入しましたが、中々広まりません。どのように活用しているのか先進校の事例が知りたいです。
- ・「わいわい文庫」の活用については、HP 上に提供されている情報を本区内の司書教諭と学校司書に周知していく。また、今後の研修会では、外国籍の児童生徒への読書支援についても詳しく伺いたい。本日は貴重な研修会を設定いただき、深謝申し上げます。
- ・Zoom 視聴できて実際助かったのだが、時間が長いために途中で（来客や電話対応で）聞けなくなることがあった。ライブ配信ではなく、後日オンデマンド配信していただくとすべてしっかり聞けてうれしい。

- ・わいわい文庫に関心があるが、図書館運用としてイメージがわきにくい。一度事例集は見てみようと思う。
- ・アクセシブルな電子書籍やテキストデータの提供など、読書バリアフリー法の施行から5年以上が過ぎた今、各出版社の最新の取り組み状況について取り上げていただきたい。
- ・オンラインでこのような講演をきかせていただけること、大変ありがたく思っています。各地の読書バリアフリーの活動をこれからもお知らせください。
- ・学校図書館に勤務していた時に、もっといろいろなことができたはずなのにと後悔している。ただ、週1日くらいでは支援学級のサポートまでは手が回らず、正直いっぱいだった。サポートクラスでたまに読み聞かせをすることくらいしかできず、本当に残念だった。
- ・これが読書バリアフリーに関係しているものかわからないのですが、数学や英語、理科の教科書は読めるけれど、国語（小説も含めて）になると読めない。読んでも頭に入っていない、という生徒がいます。全国的に見て実際にそういう子たちが多くいるのか、いるとしたらどんな支援を行えばいいのか知りたいです。
- ・地域で連携して取り組んでいらっしゃる事例がございましたら、紹介いただきたいです。
- ・私は長い間、読み聞かせの活動を続けてまいりました。今も毎週行っています。とくに、中学校や小学校の支援学級で読み聞かせをすることが多いので、今日学んだことを生かして行きたいと思います。
- ・一緒に点字の絵本を楽しむなど、さまざまな人と読書を楽しむ体験ができる講座があれば参加したいです。
- ・学校や地域での実践例を知りたいです。
- ・学習障害のある方への、読書のアプローチの仕方をもっと知りたいと感じました。
- ・公共図書館・教育現場・情報提供施設など、分野の異なる施設・団体が協働している事例などがあれば取り上げてほしいです。
- ・公共図書館での事例、実践について、もっと他の館からも意見を聞いてみたいです。サピエ事例、情報発信や関係機関との連携、カウンターや書架での工夫などが知りたいです。
- ・支援が必要な子どもたちへの読書普及に必要なことや、読み聞かせの方法について学びたいです。
- ・紙媒体の読み物とデジタルの選択が、より多くの人に理解され、活用されるようにしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・特別支援教育や生徒指導に関する研修や講座を希望いたします。
- ・本を使った授業実践例を聞いてみたいです。
- ・リンゴの棚などについて興味があります。
- ・本校に「リンゴの棚」と名付けてLLブックや他本、バリアフリー関連のグッズなども別置しています。そこに配架する本は、それぞれの個性があって良いかと思いますが、標準的なおすすめ本などがあれば教えていただきたいと思います。